

頭の中には、朧げで不確かなイメージがあります。

そのイメージは描くことによって、絵画という誰もが共有できる形になります。

そして、ぼんやりとしていたイメージを明確にすることは

自分の考えを確認することであると同時に、創作を楽しむことでもあります。

また、アナログな岩絵具にこだわるのは、原始的な素材の持つ力に魅力を感じているからです。

かたち無きイメージを、岩絵具という「物質」で再構築する喜びは、かけがえのないものです。

初個展から10年が経ちました。

これからも、私の中にある穏やかで豊かな世界を変わらずに描いていきたいです。

みやじまゆういち





「ネコノヒタイ」紙本彩色 30×90cm

To the state of th









上:「となりは何色」紙本彩色 17×90cm 下:「かえるのうた」紙本彩色 17×90cm







上:「夢の中へ#1」紙本彩色 WSM

「夢の中」紙本彩色 30×90cm

※1 豊島区立トキワ荘マンガミュージアム× TOSHIMA-MANGA-LAND おもてなしプロジェクト採用作品

下:「夢の中 #3」紙本彩色 WSM



「海底探索」紙本彩色 P5号



「ちいさな庭」紙本彩色 P5号



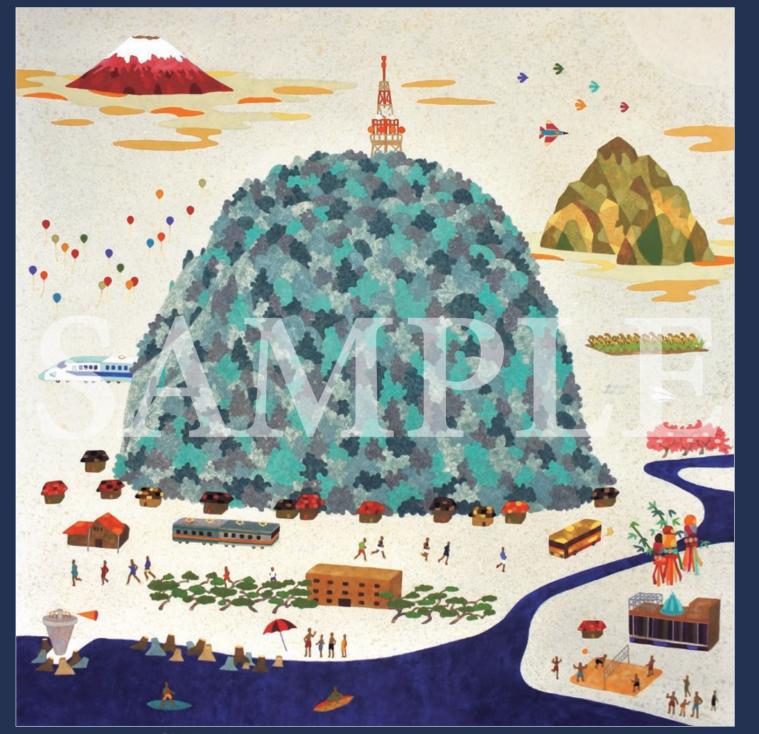
「ポピーた蝶」紙本彩色·金箔 P5号

14

SATTURE SOLUTION OF THE PROPERTY OF THE PROPE



「5月の庭」紙本彩色 M6号



「東海道~大磯・平塚~」紙本彩色 S100号(IAG AWARDS 2019 東武百貨店ギャラリー賞受賞作品)





「cube -cat-」紙本彩色 10×10×10cm

「cube -dice-」紙本彩色 10×10×10cm

「cube -peace-」紙本彩色 10×10×10cm

「cube -car-」紙本彩色 10×10×10cm





「まちあるき」紙本彩色 S4号



「町歩き」紙本彩色 S10号

2021年春、みやじまゆういちが手掛けた川越春暖簾とショッピングバッグが川越の蔵造りの町~菓子屋横丁を彩りました。

「今回、川越をテーマとしたイラストを描かせていただきました。以前より、どのような街なのかは見聞きしていましたが、実際に取材をしてみると、とても楽しくロマン溢れる素敵な街でした。

かつての名残を見せる街並み、賑わう人々、また目移りして しまう魅力的な雑貨や食べ物の数々。それらのアイテムが持つ 小粋な空気感が印象的だったので、私なりの小江戸と、川越市 の花である山吹を装飾的に描いてみました。」



舗やまわ



縦長のれん

川越春暖簾 紙袋



(左) 玉屋 (右) ぽっちり







みやじまゆういち PROFILE

1982年 石川県生まれ

2007年 金沢美術工芸大学美術工芸科日本画専攻卒業

2005年 第37回 日展 初出品·初入選

2006年 第6回 雪舟の里総社 墨彩画公募展入選

2011年 遊美(タワーホール船堀/東京)

個展(八犬堂/銀座)

2011年より北陸中日新聞文芸欄挿絵を毎月担当(~2020年3月迄)

2012年 見参(タワーホール船堀/東京)

個展(ギャラリーモンレーヴ/熊本)

2013年 個展(ながの東急百貨店/長野)

2014年 アートのチカラ(伊勢丹新宿店)

岡村智晴・中沢梓・みやじまゆういち三人展 筆三味線(金沢21世紀美術館)

個展(サンリブシティ小倉/北九州)

2015年 アートアートアート(松坂屋名古屋店)

個展(フォーヴギャラリー/福岡)

2016年 個展(日本橋三越本店)

2018年 個展(東武百貨店船橋店)

2019年 IAG AWARDS 2019 入選・東武百貨店ギャラリー賞受賞(東京芸術劇場/池袋)

Art Expo Malaysia 2019(マレーシア)

2020年 伊藤忠商事 カレンダー原画制作

川越春暖簾原画制作

2021年 個展(渋谷·東急本店)



り絵で遊んでみましょう



※1 豊島区立トキワ荘マンガミュージアム×
TOSHIMA-MANGA-LAND おもてなしプロジェクト (2020.11 ~ 2021.3)



※2 群馬県伊勢崎市 大光寺保育園

◎みやじまゆういち 2021 発行・デザイン・制作 八犬堂

